

この町で、この地で笑って老いたい ~そのために今すべきこと~



# 【まち協だより】

令和6年5月号

電話(FAX) 82-0933

発行: 山上まちづくりの会事務局

## ● 合同環境整備作業 (グラウンド・センター周辺) 6月9日(日)実施

例年実施しております環境整備作業を下記の日程で今年も実施いたします。お忙しいと思いますが多くの皆様のご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。また、大草山登山道の草刈り担当は当日の朝集合した際に決めさせていただきます。

○日時: 6月9日(日) 午前8時30分~

○集合場所: 山上地域振興センター玄関前

※環境整備作業に必要な道具は各自でご持参ください。

お茶と混合油はまち協のほうでご用意いたします。

## ● 地域振興部からのお知らせ

### ホテル観賞地の草刈り 6月16日(日)実施

ホテル乃国おもてなし活動の和田原地内県道沿いの草刈りを今年も下記の日程で行います。多くの皆様のご協力、ご参加をお願いいたします。

○日時: 6月16日(日) 午前8時30分~

○集合場所: 和田原地内駐車場

※刈り払い機、レーキ等の作業用具をご持参ください。

お茶と混合油は地域振興部のほうでご用意いたします。

## ● 移動販売車が毎週金曜日、山上に来ます！



新鮮な野菜、魚、肉、惣菜、日用品などを販売する移動販売車(運行業者: 合同会社ひまわり)が5月10日(金)の15時にパン屋さくらんぼ前に行ってきました。これから毎週金曜日15時ごろパン屋さくらんぼ前で販売されます。不便だった買い物が楽になりそうですね！

~今後の予定~

○5月31日金曜日に『自治協議会総会(日南町役場)』、『自治協議会・自治会長合同会議(日南町総合文化センター)』、『常任委員会(日南町総合文化センター)』が行われます。

~お知らせ~

○5月に発行する予定でした大草山だよりは、都合により6月に発行させていただきます。

○笠木の池本栄さんから『下谷中鉄山史料集』を寄贈いただきました。興味のあるかたは閲覧できますので山上地域振興センターにいらっしやってください。

心ゆれる日々 後編

こんな岩雄でしたが、勉強をすつかり捨ててしまったわけではなく、難しい問題やわからないことによつかりと四キロメートルも離れた坪倉英輔さんの家へ出かけて指導を受けていました。英輔さんは岩雄より五、六才ほど年上の第一高等学校(今の東京大学)の学生で、秀才と呼ばれた人でした。病気のため、ここ一年ほど家に帰ってきて休んでいるのですが、英語でも漢学でも数学でも、岩雄の質問には気持ちよくしかも熱心に答えてくれました。この英輔さんの影響は大きく、岩雄の胸の中に少しずつ向学心が膨らんでいきました。その頃のことです、岩雄は近所の人たちに誘われて隣村との境にひとときわ高くそそり立つ



船通山に登ることになりました。船通山は神話の「やまたのおろち」の舞台とされた山ですが、この山の九合目の辺りに子供が七、八人手をつないでかかって届かないほどの太さを持つ「イチイの木」があります。この大きなイチイの木の話を伝え聞いた近くの村の人々はこの木を拝もうと次々に山に登るようになりました。岩雄もそうした人々の仲間に入って山に登ったのです。険しい山道で踏みつけられた道のあちこちに木の根っこが這

い回っています。何十年も経ったような大きな木が頭の上に覆いかぶさるように茂り、薄暗い木立の中で小鳥の声がしています。ようやく目的の場所に着いた時には汗びっしょりで、岩雄は目の前に立ちほだかるイチイの木に押しつぶされそうな強さを感じて、息の詰まる思いでした。落ち着いて周囲を眺めると山また山が連なりそのはるか先に日本海が光って見え、晴れた日には隠岐の島も見えます。何百年も何千年も生き続けて山の主のようなどっしりとしたイチイの木、さえぎるものもなく、大空に伸びているイチイの木に岩雄はすっかり心をうばわれてしまいました。山を降りてからも、岩雄は船通山でみた天も地も一つとなった広い世界、人間など、到底およびもつかない長い年月を生きたいイチイの木の姿を思い出すたびに、胸が高鳴って落ち着かないのでした。